

(2)「手だて」とは何ですか？



生徒の実態を踏まえた上で、授業目標を達成するために
教師が行う工夫・支援 のことです。

授業目標を達成するために、私たちは、様々な準備をして授業に臨みます。

このとき、生徒の実態を踏まえて行う工夫・支援が「手だて」です。

「手だて」には、生徒の興味・関心を高めたり、生徒の思考・活動を促したりする役割があります。

「手だて」には、例えば、発問や教材・教具の工夫があります。また、授業形態を一斉授業だけでなく、ペアやグループでの討議を導入する工夫もあります。そして、これらの工夫を講じるタイミングも大切です。

生徒のつまづきを予想し、支援するための工夫を考えておくことも、とても大切です。

「手だて」の例

導入

- 興味・関心を高める教具
- 授業目標を意識させる発問

展開

- 内容の思考を促す発問
- 生徒の活動を活かす工夫
- 学習の心をつまづきなくすすめる授業形態
- 生徒の支援助けを促す授業形態

まとめ

- 生徒の自己評価やまとめ
- 生徒同士の相互評価

手だての例

授業目標

三角比を使って三角形の面積を求めることができる

導入

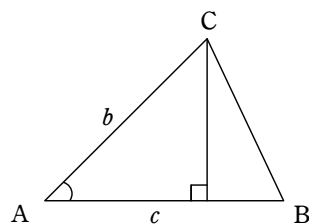
三角形の決定条件の確認

- ・ 2辺とその間の角
- ・ 3辺
- ・ 1辺とその両端の角

展開

三角形の面積の公式

$$S = \frac{1}{2}bc\sin A$$



手だて① 全体への発問

「高さはどうやって表すことができるだろうか」

ポイント①

公式を導く重要なポイントを意識させる

高さを $\sin A$ で表し公式を導く

三角形の面積を求めよ

例題 $a = 3, b = 4, C = 120^\circ$

練習 (1) $b = 3, c = 2, A = 45^\circ$

(2) $a = 3, c = 5, B = 150^\circ$

(3) 1辺の長さが4の正三角形

ポイント②

既習の知識を思い出させる

手だて② 理解不十分な生徒への指導

教科書の三角比のところを開かせ、図を描いて \sin の値をどうやって求めたか指導

手だて③ 早く終えた生徒への発問

「 a, b, c の3辺がわかっているときの面積の公式を求めてみよう」

ヘロンの公式

ポイント③

発展的な学習を指示し公式を導かせる